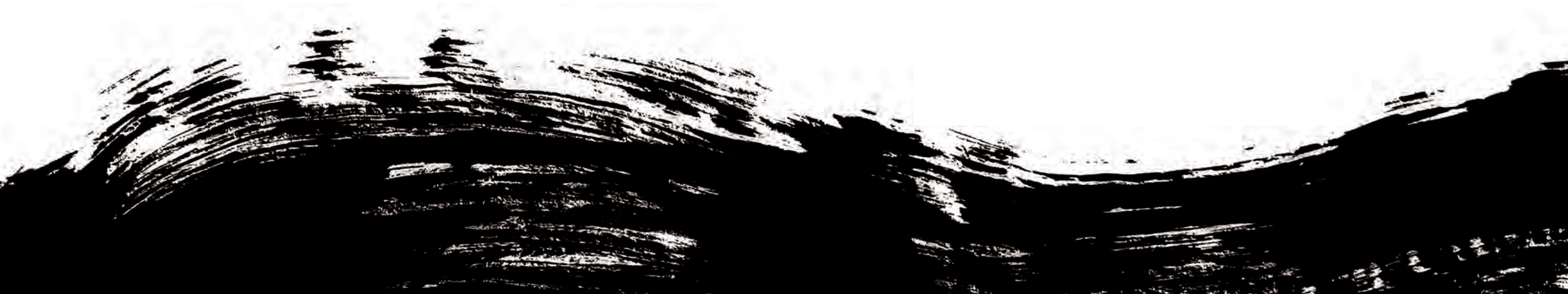
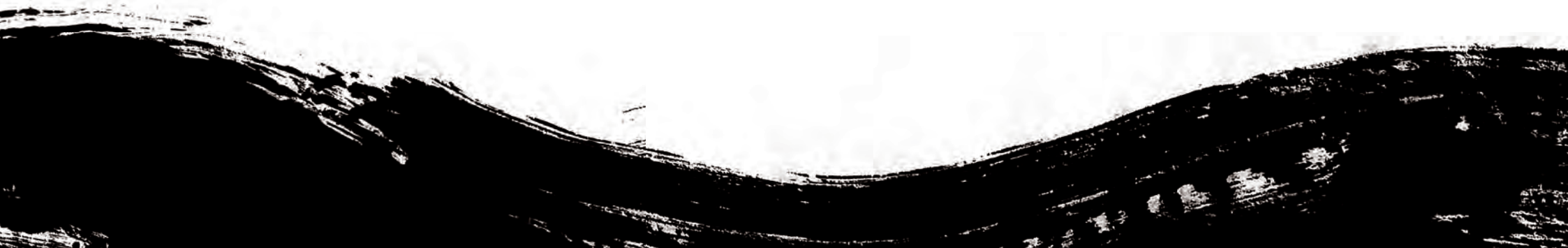




reating Hope Through Healthcare



医療という希望を創る。





家族のために、会社のために、長い人生をまっとうした人々が、
誰にも看取られることなく、ひっそりと、人生の幕を閉じる。
そんな人生のエンディングを、社会の当たり前にはいけない。
自分の意思で、人間らしい人生の幕の閉じ方を選択できる。
そんな世の中にしていききたいんです。

CUC 在宅事業部 事務長



「患者様の気持ちに寄り添いたい」

使命感を胸に医療の現場に携わる医療従事者にとっても、
数えきれない課題が目の前にあります。

医療現場の過重労働やワークライフバランスの欠如。

そうした課題の一つひとつを、変えていく。

持続可能な働き方が必要だと思います。

CUC 透析事業部 マネージングディレクター

この国には、「医療が十分に届いていない場所」がある。
地方の超高齢化、病院や診療所の閉鎖、医師不足。
そのひずみが、誰かの生きる希望を奪ってはいけない。
日本中のどの地域でも、安心して歳を重ねていける。
そんな社会にしたいくて、この仕事を選びました。

ソフィアメディ 看護師

人が健やかに生きる権利は

世界のどの国でも平等であるべきなのに。

不衛生な廊下に患者様が寝かされる。

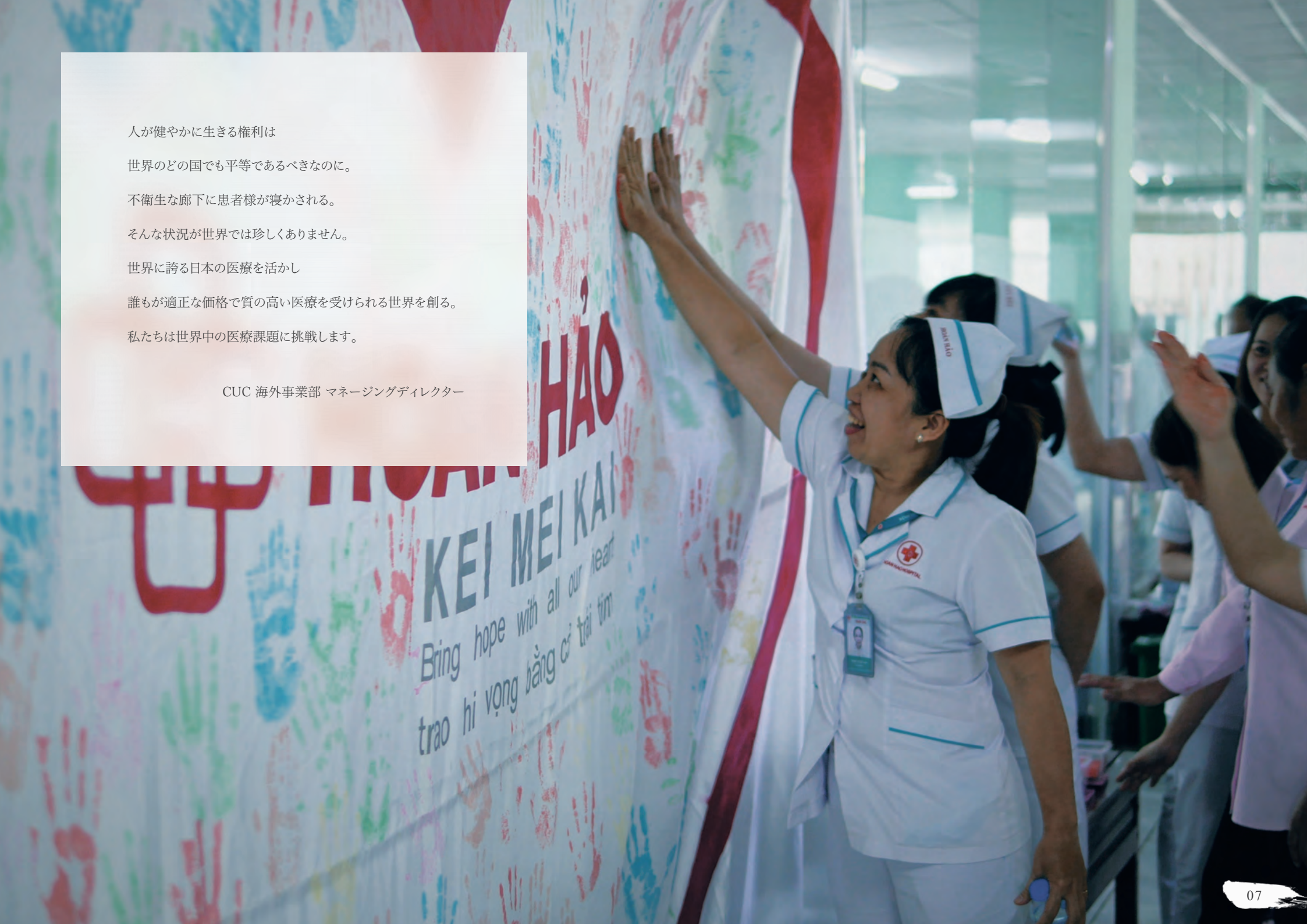
そんな状況が世界では珍しくありません。

世界に誇る日本の医療を活かし

誰もが適正な価格で質の高い医療を受けられる世界を創る。

私たちは世界中の医療課題に挑戦します。

CUC 海外事業部 マネージングディレクター



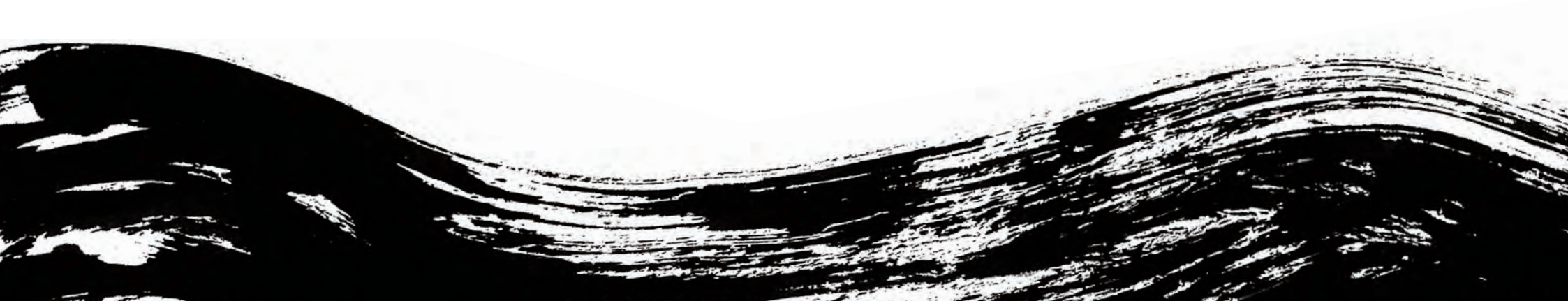
希望を創る船に、
私たちは集う

患者様のため、
医療従事者のため、
社会のため。

医療という希望を創りたいという想いが
私たちの出発点であり、目指す星。

ひとりでも多くの方が
ここから安心して暮らせる未来へ
どんなに高い波も
終わりの見えない嵐も
手を重ね、乗り越える。

私たちは希望ある未来を
なにがあってもあきらめない。



CUCグループが 向き合う医療課題

超高齢化が進む日本では、さまざまな医療課題が山積しています。年々増加する高齢者の孤独死、医師や看護師の不足、医療費の増大。社会保障制度の破綻までささやかれている日本には、課題が多くありながら、抜本的な改革のスピードが追いついていません。海外においても、途上国に目を向けると、未整備な医療環境や医療水準の不均衡、生活習慣病のまん延などで、多くの命が失われている現状があります。

私たちCUCグループは、創業当初からこうした課題に苦しむ現場を目の当たりにする中で、変革の必要性を強く感じ、あらゆる方向から課題解決に取り組んでいます。医療を取り巻く環境を進歩させ、世界中で当たり前の幸せを実現できる未来を目指します。





課題解決への アプローチ

CUCグループは、医療機関向け支援事業と、訪問看護・ホスピス事業を柱として事業を展開しています。コロナ禍においては、ワクチン接種支援や在宅治験のような行政機関・企業に向けた事業を新たに創出しました。

社会から求められる医療の在り方を迅速に提案し実行することで、山積する医療課題の解決に向き合っています。

事業セグメント

医療機関向け支援事業

在宅医療

病院医療

透析医療

外来医療

ワクチン接種支援

訪問看護・ホスピス事業

訪問看護
ステーション運営

在宅ホスピス運営

創薬支援(在宅治験)

自宅療養者支援
(健康観察)

年間実績ハイライト

※算出期間：2021年4月～2022年3月
※2022年3月時点の数字データ

患者様への価値

■患者様数

 **15,061**人 前年差 +1,859人

在宅ホスピス 692人 前年差 +122人

※ご入居者様の人数

訪問看護 14,369人 前年差 +1,737人

※患者様の人数

■お看取り数

 **1,845**人 前年差 +677人

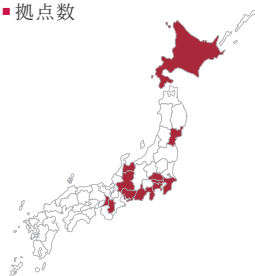
在宅ホスピス 783人 前年差 +297人

訪問看護 1,062人 前年差 +380人

■訪問件数

 **802,819**件
前年差 +185,045件
※ソフィアメディにおける訪問看護

■拠点数



在宅ホスピス 前年差 +4 拠点
26 拠点

訪問看護 前年差 +15 拠点
83 拠点

社外評価

■CUC

「ONE CAREER 就活クチコミアワード2022」ベンチャー部門 最高賞「GOLD」受賞

■ソフィアメディ

- ・「LACP 2020 Vision Awards Annual Report Competition」3部門受賞
- ・「ARC Awards for Annual Reports」シルバー受賞(2021年)
- ・「KAICA Awards 2020」大賞受賞

CUCグループの実績

■従業員数

 **2,977**人
前年差 +636人

CUC 404人
CUCホスピス 719人
ソフィアメディ 1,445人

※契約社員・アルバイトを含むグループ従業員総数

■年間採用数(新卒・中途)

 **894**人
前年差 +262人

CUC 105人
CUCホスピス 293人
ソフィアメディ 496人

※契約社員・アルバイトの従業員を除く

■新規事業立ち上げ数

 **3**件

ワクチン接種支援事業(CUC)

在宅治験事業
(ソフィアメディ/CUC)

健康観察事業(ソフィアメディ)

※2021年度に新たに1億円以上の売上高を計上した既存事業以外の事業

■従業員における女性比率

 **63.7**%
CUC 39.8%
CUCホスピス 81.4%
ソフィアメディ 69.9%

■管理職における女性比率

 **52.6**%
CUC 16.9%
CUCホスピス 65.0%
ソフィアメディ 75.9%

新型コロナウイルス感染対策事業のアウトカム

■ワクチン接種会場運営支援 ※算出期間：2021年6月～2022年6月

接種数
約**183**万接種

医療従事者の採用支援数
のべ**7,000**人以上

支援先自治体数
20都市以上
※県、政令指定都市を含む

■大規模PCR検査センター 立ち上げ支援による検査実施数

約**88,900**件

※算出期間：2020年7月～2022年6月

■自宅療養者支援(健康観察) 支援先自治体数

5自治体

※算出期間：2021年7月～2021年9月

新型コロナウイルス感染症対策
についての詳細は、本レポート
「新型コロナウイルス感染症対
策事業におけるアウトカム」ペー
ジをご参照ください

Contents

09	CUC グループが向き合う医療課題	Creating Benefits for Society 私たちの目指す価値創出	Stories of Hope 私たちの希望創出事例	ESG Initiatives ESG データと企業情報	
10	課題解決へのアプローチ				
11	年間実績ハイライト				
		14	代表取締役メッセージ	43	ESG ポリシーとガバナンス体制・ 環境関連データ
		18	医療という希望の創りかた		
		19	- 価値創造モデル	27	社会データ
		20	- マテリアリティ(重要項目)	28	ガバナンスデータ
		21	- SDGs アクション	34	ガバナンス体制図
				49	役員紹介
				50	企業情報

本レポートの目的

本レポートは「医療という希望を創る。」をミッションとして掲げる CUC グループのサステナブルな社会の実現に向けた取り組み実績と今後実現を目指す指標についてまとめたファクトブックです。当グループの経営方針、社会課題の解決に向けた活動を分かりやすくお伝えし、ご理解いただくためのコミュニケーションツールと位置づけています。※データの報告対象期間 2021 年 4 月～2022 年 3 月 (必要に応じて当期間の前後についても言及しています)



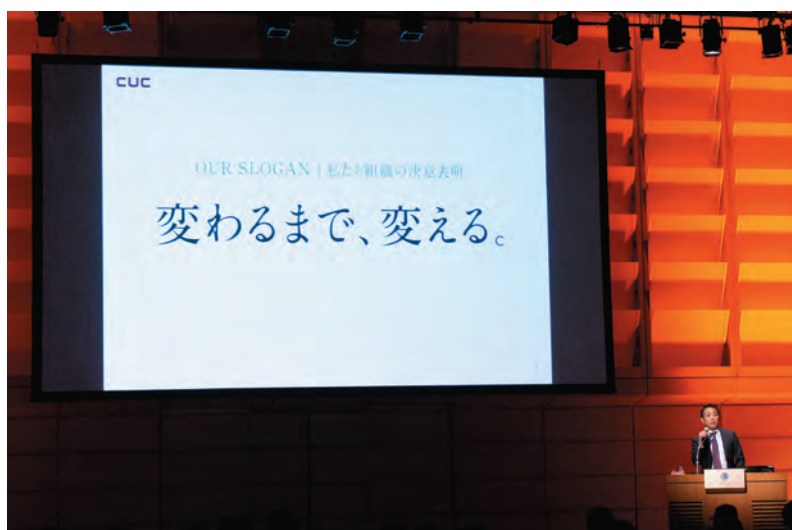
Creating Benefits for Society

私たちの目指す価値創出



代表取締役メッセージ

子どもたちが生きる未来に、
持続可能な医療を。
だから、CUCは「変わるまで、変える。」
濱口 慶太



理想の医療提供の在り方を 根本から捉え直す

超高齢化と人口減少という巨大な社会問題に直面する日本は、団塊の世代全員が75歳以上になる2025年には医療費の保険給付金額が54.9兆円になるといわれ(※1)、国民一人当たりの負担が増大し続けています。医療・介護の現場では深刻な人材不足が起きており、特に介護領域は2040年に約69万人が不足(※2)。その先に予測されるのは、救急車が不足し、救えるはずの命が救えなくなる可能性がある未来です。これらの予測は「住み慣れた場所で最期を迎えたい」という患者様の最後の想いすら叶えることが難しくなる未来を示しています。

世界に目を向けても、先進国の高齢化、新興国の経済成長に伴う生活習慣病患者の増加、新たな感染症のリスクなど、課題を挙げれば数えきれません。世界には医療の質も量も不足し適切な治療を受けることができない地域が多く存在し、今この瞬間も多く命が失われているのです。

こうした医療課題は、目の前の事象に一つひとつ対処するだけでは解決されません。今後、限られた資源の中で質の高い医療を持続可能なかたちで提供し続けるためには、医療提供の在り方そのものを根本から捉え直していかなければならない。

このような問題意識から、私は2014年8月にこの会社を創業しました。

私たちの使命

「医療という希望を創る。」

CUCという社名は、「変わるまで、変える。(Change Until Change)」の頭文字から生まれました。変化を恐れず医療課題に挑戦する私たちの存在意義を表す言葉であり、「医療という希望を創る」企業として、新しい挑戦に向かい続けるという強い意志を込めています。

患者様に寄り添った医療を追求し、ひとりでも多くの方がここから安心して暮らせる社会を創ること。そして、その社会を持続可能なかたちで子どもたちが生きる未来に繋いでいくことが、私たちの使命です。

※1 出典：「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」(内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省 2018年5月21日)に対応した国民医療費の将来見通し(計画ベース・経済ベース・スラインケース・単価の伸び率・経済成長率等を踏まえるケース①)

※2 出典：厚生労働省「第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」(令和3年7月9日)



2014.8
 エムスリードクターサポート
 株式会社設立とともに
 医療機関支援を開始

2014



CUC HOSPICE

2017.3
 エムスリーナースサポート株式会社
 (現 株式会社シーユーシー・ホスピス)設立

2017



Sophiamedi

2018.1
 ソフィアメディ株式会社を
 連結子会社化

2018.2
 現 株式会社シーユーシー・フーズを
 連結子会社化

2018

CUC

2019.8
 株式会社シーユーシーへ社名変更
 2019.12
 ベトナムにて病院向け医療機関支援を開始

2019



2020

2020.1
 インドネシアにて
 透析医療機関支援を開始

2020.4
 新型コロナウイルス感染症対策事業
 (チャレンジコロナプロジェクト)を開始



2021

2021.4
 CUC Partners Philosophy完成・発表

しかし、この使命の実現は容易ではありません。
 「いかに限りある時間の中で」「いかに質の高い
 医療を」「いかにひとりでも多くの方へ」「いかに
 持続的に提供できるか」という複雑に絡み合う
 問いに、背中を向けることなく挑み続けること
 が、私たちの宿命です。

在宅医療機関支援を出発点に、
 日本と世界で医療課題の解決に
 奔走した8年間

CUCの事業は、患者様・医療従事者・社会の不
 負を解消し、希望を創り出す営みです。これら三者
 のALL-WINの循環を生み出す事業を目指します。

CUCグループは「在宅医療」の領域から
 スタートしました。住み慣れた地域で暮らし続け
 たいという患者様の願いを叶えながら、入院医
 療に比べて医療費負担が少ない在宅医療はこ
 れからの日本に不可欠な医療です。ところが、患
 者様本人やご家族からの認知度の低さ、在宅医
 や訪問看護師の身体的・心理的負担、診療報酬
 改定に伴う経営の難しさ、社会的認知度の低さ
 など、患者様・医療従事者・社会のそれぞれに在
 宅医療の普及を阻む大きな課題があります。

だからこそ、私たちは在宅医療の普及を推進
 するため、在宅医療に力を入れる医療機関の経
 営支援を始めました。その後、在宅医療の重要な

役割を担う訪問看護ステーションや在宅ホスピ
 スの事業運営に参入することで、日本全国の在
 宅医療の提供体制構築に貢献しながら、CUCグ
 ループの大きな成長の柱としてきました。

2015年以降、在宅医療以外の専門領域を扱
 う医療機関にも積極的に支援対象を広げていま
 す。患者様や社会のニーズの変化から機能再編
 が求められている民間病院、質の高度化が求め
 られる透析クリニック、高齢化を背景に高まる白
 内障手術の需要に対応する眼科クリニック、近
 年法整備が進む医療的ケア児を支える小児科
 クリニックなど、解決すべき社会課題に挑む医療
 機関に対して、支援を拡大しています。

日本国内にとどまらず、2019年には海外事業
 を開始しました。海外の医療格差を解消するた
 め、東南アジア(ベトナム・インドネシア)に事業エ
 リアを拡大し、日本で培った医療経営支援の手
 法や事業開発ノウハウを生かし医療機関支援を
 実施しています。

グループの力を総結集して
 コロナ禍に立ち向かう

2020年以降、新型コロナウイルスのまん延によ
 って世の中が一変しました。人々の不安と緊張が増
 し、全国の医療機関にも感染拡大の影響が及ぶ中
 で、医療に関わるCUCグループには何ができるかを
 考え、新たなサービスを開発していきました。



例えば、CUCグループにおいて訪問看護を行うソフィアメディでは、2021年春以降、全国各地の行政・保健所と協働し、自宅療養をする新型コロナウイルス患者の見守り支援を開始。陽性者の重症化が認められた際の訪問看護やオンライン診療、配薬を早く受けられる仕組みづくりを行いました。また2021年5月、CUCは自治体および企業のワクチン接種会場のオペレーション支援を開始。感染収束の鍵を握るワクチン接種において、その普及スピード向上に貢献すべく、会場設営から必要な医療物資・人材の手配まで包括的な支援を行いました。

海外では、一時期感染抑制に成功していたベトナムでも、2021年6月にはデルタ株の感染拡大に伴い医療崩壊が迫る状況でした。ベトナムにおける支援先であるHoan Hao Holdingsの一病院を100%新型コロナ病床化する支援を行い、陽性者の入院受け入れと検査ラボの開設支援を実施。ひっ迫した地域の医療体制の緩和に貢献しました。

また、2021年11月からは、新薬開発に必要な不可欠なステップである治験においても、M3グループ企業との協働で「在宅治験事業」を開始し、新薬開発の可能性を広げる新しい挑戦を始めています。

希望ある明日を創り続ける 変革のチームを目指して

コロナ禍と向き合う中で、私たちは患者様にとって、医療従事者の皆さんにとって、社会にとって、本当に希望を創ることができているだろうかと自問自答を繰り返してきました。その結果、「医療という希望を創る。」という使命を実現するためには、希望を創る担い手である私たち自身が、いきいきと働ける「組織文化」をつくることが何よりも大切であるという結論に至りました。あるべき組織の姿について数ヶ月間議論を尽くし、行動指針を含めてまとめ上げたのが「CUC Partners Philosophy」です。我々は、CUC Partners Philosophyに則り、今日よりも希望ある明日を創り続ける、変革のチームでありたいと思います。

今後も日本国内においては、超高齢社会を支えるため、在宅医療をはじめとするさまざまな領域の事業を通じて、患者様に寄り添ったあたたかな医療サービスを日本中に行き渡らせていきます。また、医療現場から得られる生の情報とテクノロジーを掛け合わせて新たな医療サービスを生み出し、あらゆる医療課題の解決に取り組みます。海外においても、ベトナムやインドネシアを皮切りに、世界中の医療課題を解決できるよう努力していきます。

代表取締役 濱口 慶太

医療という 希望の創りかた

私たちの理念

CUC Partners Philosophy

「CUC Partners Philosophy」は、CUC グループの全従業員、そして支援先医療法人で働くすべての医療従事者の皆様が共通して掲げるために定めた経営理念です。
多様な人が集う CUC パートナーズの組織文化の拠りどころであり、コミュニケーションにおける共通のものさしとなる存在です。
ここからは CUC Partners Philosophy を中心にした「医療という希望の創りかた」をお伝えします。

私たちの使命の出発点

CUC Partners Statement

「患者視点の医療」を、
ひとりでも多くの方へ。

私たちの使命

CUC Partners Mission

医療という希望を創る。

私たちの歩み方

CUC Partners Way

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 01 「自分の立場」ではなく
「患者様の気持ち」で考える。 | 04 「専門性」の前に
「人間性」を重視する。 |
| 02 「できない理由」ではなく
「できる方法」を探して実行する。 | 05 「上下」ではなく
「ひとつのチーム」として
手を重ねる。 |
| 03 「既成概念」にとらわれず
「理想」を追求する。 | |

※CUC パートナーズとは、CUC グループの企業とご支援先医療法人を合わせた共同体の呼称です。
※CUC Partners Philosophyの原文は株式会社シーユーシーのコーポレートサイトを参照ください。





価値創造モデル

価値創造モデルは、私たちの使命「医療という希望を創る。」を実現するための原動力を表現したモデル図です。

経営理念を中心に「理念の求心力・社会の歪みを捉える力・迅速な意思決定力・やり切る力」という四つの力が躍動し回転することで、あらゆる医療の不と負の解決に向き合う事業を、迅速に世の中に生み出していきます。

Creating Hope Through Healthcare

医療という希望を創る。





マテリアリティ(重要項目)

医療という希望を創るために、私たちが取り組む5つの重要項目。SASB、GRIなどの各種スタンダード(※)を基準として、社会・ステークホルダーにとっての重要度と自社にとっての重要度を複合的に議論をすることで、経営理念を実現するために必要な重要項目を特定しました。

※SASBスタンダード: サステナビリティ会計基準審議会(SASB:Sustainability Accounting Standards Board)が2018年に公開した非財務情報公開の標準化に向けた基準。
GRIスタンダード: GRI(Global Reporting Initiative)により定められた国際基準。組織が経済、環境、社会に与えるインパクトを一般に報告する際に用いられる。

 Creating Hope Through Healthcare

医療という希望を創る。

Environment

地球環境に
配慮した経営

感染症・自然災害・熱中症リスクなど、切り離すことのできない地球環境と医療。温室効果ガスの排出量削減、再生可能エネルギーへの切り替え、廃棄物排出量の削減など、医療介護における環境対応の先進企業を目指します。

Social

患者様と医療従事者の
ウェルビーイングの追求

患者様が自分らしく人生を過ごすために最適な医療を提供すること。医療従事者が仕事に誇りと働きがいを感じながら働けること。私たち自身を含めた医療に関わるすべての人が、一人ひとりの希望を叶え幸せに暮らせる理想の未来を追求します。

Social

持続可能で
イノベーティブな
医療サービスの創出

限りある医療資源をいかにひとりでも多くの方へ持続的に提供できるか。複雑に絡み合う課題に対し、既成概念にとらわれない発想で新しい技術や考え方を取り入れ、理想の医療の姿を追求することで革新的な医療サービスを創出します。

Social

安心安全な医療の提供

いかなる状況でも安心安全な医療を患者様に提供すること。未知の感染症や自然災害の脅威に怯えることなく社会活動を正常に保つこと。ひとりでも多くの方がここから安心して暮らせる社会の実現を目指し、患者視点の医療を生み出し続けます。

Governance

コンプライアンスの
遵守

すべての役員・従業員が、高い倫理観と責任感を持ち、法律や条例、社会的規範や企業倫理などあらゆる規則を遵守すること。そして適正なコーポレート・ガバナンスを実践することで、コンプライアンス意識に基づいた行動を徹底します。



医療という希望の創りかた

SDGsアクション

「医療という希望」は、患者様の希望、医療従事者の希望、社会の希望、という3つの希望を創ることで実現します。
3つの希望を創る私たちの活動は「持続可能な開発目標(SDGs)」※を実現する道と同義であると捉えています。

※持続可能な開発目標(SDGs)：2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な開発のための2030アジェンダで掲げられる国際目標

「患者様の希望」



CUCグループは、ひとりでも多くの方にここからの安心を届けるため、「患者視点の医療の普及」をなにかあってもあきらめない経営理念の中で誓いを立てています。「すべての人に健康と福祉を(ゴール3)」は私たちが目指す患者視点の医療の普及の先に実現するものと考えます。そして、私たちが解決したい医療の不と負は日本だけでなく世界中に存在します。国の違い・所得の違いから医療格差を生んではいけないという想いから、国境を超えた新しい医療サービスの開発や人的交流の仕組みを提案していきます(ゴール10)。

「医療従事者の希望」

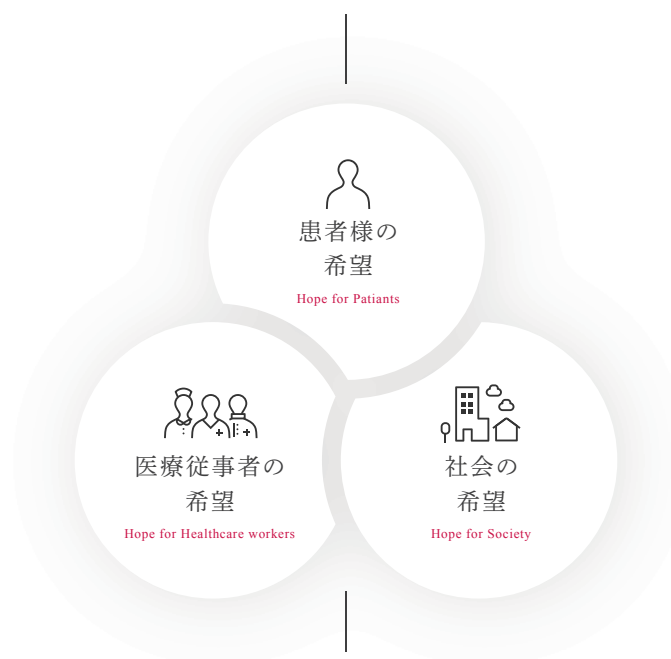


患者様視点の医療を生み出すためには、医療に関わるすべての人が誇りと働きがいを持ち続けられる職場づくりが極めて重要です。そして、一人ひとりの医療従事者が理念を礎にした行動を起こすことで、行動と利益の循環が生まれ、教育や設備への新しい投資が可能となり医療提供体制の更なる改善が可能となるのです(ゴール8)。

働きがいのある職場の前提は、多様性ある個人の尊重です。CUCではCUC Partners Way(私たちの歩み方)のひとつに“「上下」ではなく「ひとつのチーム」として手を重ねる”を掲げ、お互いの個性や役割を尊重し、共感と対話を通してフラットなチームで価値創造を目指しています(ゴール5)。

Creating Hope Through Healthcare

医療という希望を創る。



「希望を生み出すパートナーシップ」

「社会の希望」

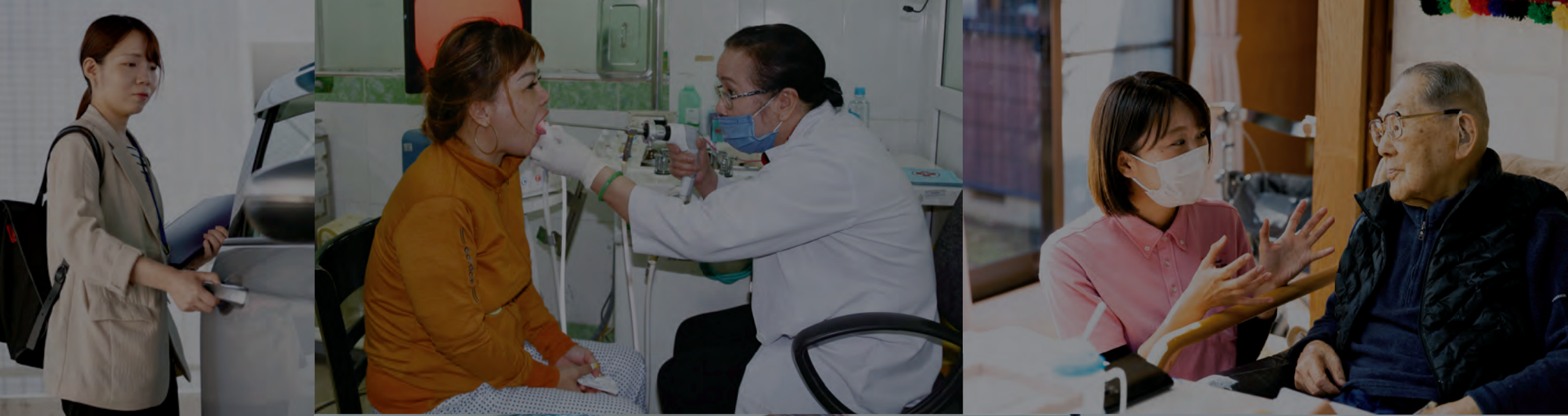


医療機関への経営支援、訪問看護ステーションや在宅ホスピスなどの自社サービスの提供は、少子高齢社会を支える医療インフラ構築にほかなりません。誰もが住み慣れた家や地域で暮らし続けられる社会を実現するため、私たちは医療サービスを通じてまちづくりを支えます(ゴール11)。また、気候変動と医療は、感染症・自然災害をはじめさまざまな関連性があり、切り離すことはできません。環境負荷の観点でみると在宅医療業界では移動手段として多くのガソリン車が使われています。CUCグループでは電動バイクや電気自動車の活用を促進し、地球環境と共存できる新しい医療提供のかたちを生み出したいと考えています(ゴール13)。

「希望を生み出すパートナーシップ」



世界各国の政府や企業・団体とのパートナーシップは、希望を生み出す原動力です。実際に新型コロナウイルス対策事業を推進する際には行政機関とのパートナーシップの重要性を痛感しました。私たちの使命「医療という希望を創る。」に共感いただき、志を同じくしていただけるさまざまなパートナーの皆様とともに、この大きな挑戦への道を歩みたいと考えます(ゴール17)。



Stories of Hope

私たちの希望創出事例





Covid-19: At the frontline with our partners

コロナ禍の社会に CUCグループが 起こした変化

2019年末から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス。

世界中の誰もが感染拡大におびえる、不安の時代が続きました。

未知のウイルスとの終わりの見えない闘いの中で、

CUCグループはこの脅威とどう向き合ったのか。

私たちの活動の軌跡を振り返ります。

CUCグループの力を結集し、 国内外の感染拡大防止に貢献する

国内初の緊急事態宣言が発令された2020年4月、私たちは、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目指す「チャレンジコロナプロジェクト」を発足させました。全国の病院・クリニックの支援や訪問看護ステーション・在宅ホスピスの運営を行っている企業グループとして社会に貢献できることを模索し、人々の健康を守ることを第一にスタートしました。

最初の一步として始めたのが、大規模PCR検査ラボの開設支援です。2020年4月当時、国内の感染者急増により、PCR検査が追いつかず、陽性者の隔離を適切に行えないケースが相次いでい

ました。そこでCUCは、国内に多くの支援先医療機関を持つ強みを活かし、PCRラボの立ち上げ支援を実施。1日1,200件の大規模検査が可能な検査体制を確立し、地域の人々がいつでもPCR検査を受けられる状態を目指しました。

この時CUCが培ったPCR検査体制構築支援の経験は、その後、全国の民間企業や行政のPCR検査体制支援にも発展。その支援の輪は国内に留まらず、海外にも広がりました。2021年6月時点で、当時陽性患者のPCRの検査体制がパンクしていたベトナムにおいて、3ヶ月という短期間で検査ラボの立ち上げを支援。2022年6月時点で累計約



プロジェクト責任者より



株式会社シーユーシー
取締役
田邊 隆通

10万件の検査(抗原検査・PCR検査)を実施しました。また、地域の公的医療機関への人的支援・医療機器／医薬品の寄贈など、公的医療機関と連携し、感染症への対応に貢献しました。

また、ベトナムにおける支援先医療法人Hoan Hao Holdingsの一病院を100%コロナ病床化し、新型コロナウイルス専門病院とすることで、累計280人以上の陽性者の受け入れ体制の構築を実現。良質な医療サービス支援を現地で提供し、ベトナムの医療現場を支えました。

未知のウイルスの脅威から社会を守るため、CUCグループの新型コロナ対策関連事業は2020年4月からチャレンジコロナプロジェクトを皮切りにスタートいたしました。誰も正解が見えない中での対応でしたが、外部パートナーの皆様の多大なお力添えをいただきながら、新たな感染対策、療養体制を一丸となって構築してまいりました。結果、第1波から感染予防・クラスター対策、PCR・抗原検査、自宅療養者支援、ワクチン接種会場運営支援など最先端のソリューションを提供し続けています。今後も国内外で人々の健康を守るサービス開発に“変わるまで、変える”想いで私たちは取り組み続けます。

ひっ迫する医療体制の中で、 自宅療養者支援にいち早く着手

2020年10月以降訪れた第3波では、国内各地の感染症病床が埋まりはじめ、自宅療養を余儀なくされる方が増加しました。当初、自宅療養の対象は、若年の方や基礎疾患のない方が中心でしたが、徐々に高齢の方も入院できない状況が発生し、地域の医療体制のひっ迫が大きな課題でした。

そうした状況を受けて、CUCグループにおいて訪問看護を行うソフィアメディでは、全国に先駆けて自宅療養者の支援に取り組んでいます。

全国の行政機関と協働し、適切な療養生活のための情報提供や、看護師による電話での健康観察、重症化が認められた際の訪問看護、オンライン診療などの仕組みを構築しました。また、地域によってはパルスオキシメーターとともに、水分やカロリー摂取に必要な食材の提供体制などを様々な事業者と連携して構築。自宅療養者の家庭内感染や重症化に留意しながら、患者様を不安にさせない対応に努めました。



「1日100万回」大規模ワクチン接種実現に貢献

2021年5月、東京を含む多くの地域で緊急事態宣言が延長される中、感染症対策の決め手として期待されたのがワクチン接種でした。菅総理(当時)は、同年7月末に接種を希望するすべての高齢者へのワクチン接種を完了するため、1日100万回の接種目標を表明。ワクチンの接種をスムーズに進める医療提供体制の構築が急務となりました。

2021年6月、CUCグループは、自治体および企業のワクチン接種会場のオペレーション支援を開始。「職員の長時間労働」や「接種会場の運営負担」といった自治体や企業が抱える課題を

解消するべく、ワクチン接種会場の設営から、必要な医療物資の手配、医師や看護師、当日の運営スタッフの手配まで包括的に支援しました。

その結果、全国の自治体や企業が主催する累計150以上の接種会場の運営支援を実施。また、採用支援をした医療従事者はのべ7,000人以上、接種者総数は自治体・企業・職域接種をあわせて183万人にのぼりました。(2022年6月時点)

ワクチン接種支援を通して、国内の集団免疫獲得を目指し、社会経済活動の正常化に貢献する。プロジェクトメンバーのこうした想いが、事業推進のモチベーションになりました。

新型コロナウイルス感染症対策事業におけるアウトカム

ワクチン接種会場運営支援

■接種数


約 **183** 万接種
(内訳)
1・2回目 約113万接種
3・4回目 約70万接種

■対応団体数


自治体 **20** 都市以上 (県、政令指定都市含む)
企業・
職域 **25** 団体以上

■対応会場数


150 会場以上

■医療従事者の採用支援数


のべ **7,000** 人以上

※算出時期:2021年6月~2022年6月

自宅療養者支援(健康観察)

■支援先の自治体


5 自治体

■概算管理療養者総数


57,500 人

■概算相談件数


39,800 人

※算出期間:2021年7月~2021年9月

ベトナム医療体制支援

■検査実施数

抗原検査 **114,350** 件 PCR検査 **3,164** 件

※集計期間:2021年6月~2022年5月

大規模PCR検査センター立ち上げ支援

■検査実施の総回数

 約 **88,900** 件

■検査実施対応可能人数

 1日あたり **1,200** 人

■検査から結果報告までの所要時間

 約 **90** 分

※算出時期:2020年7月~2022年6月

ご支援実績例

- ・公益社団法人 日本プロサッカーリーグ 様
- ・小田急ホテル センチュリーサザンタワー 様
- ・一般社団法人日本バレーボールリーグ機構(Vリーグ機構) 様
- ・近畿大学 様



新型コロナウイルス対策における取り組みについて、別紙「チャレンジコロナプロジェクトレポート 2020-2021」により詳細な内容を掲載しています。右のQRコードよりアクセスしてご覧ください。



Our Hopes: Achievements

私たちが創る、 3つの希望

私たちが目指す使命「医療という希望を創る。」を実現するためには、
3つの希望を創る必要があると考えています。

患者様、医療従事者、そして社会にとっての希望。

CUCグループの事業活動、そして組織づくりを通して、
良質な医療を実現し、未来に向けて希望を創出していきます。

すべての患者様が
安心して安全な医療を受けられ、
最期まで自分らしい人生を送れること。



患者様の
希望

Hope for Patients



医療従事者の
希望

Hope for
Healthcare workers



社会の
希望

Hope for Society

医療の世界で働くすべての人が
自らの仕事に誇りと働きがい
を持続けられること。

社会の誰ひとりも取り残されることなく
良質な医療を享受できること。
子どもたちに誇れる社会であること。

Hope for Patients

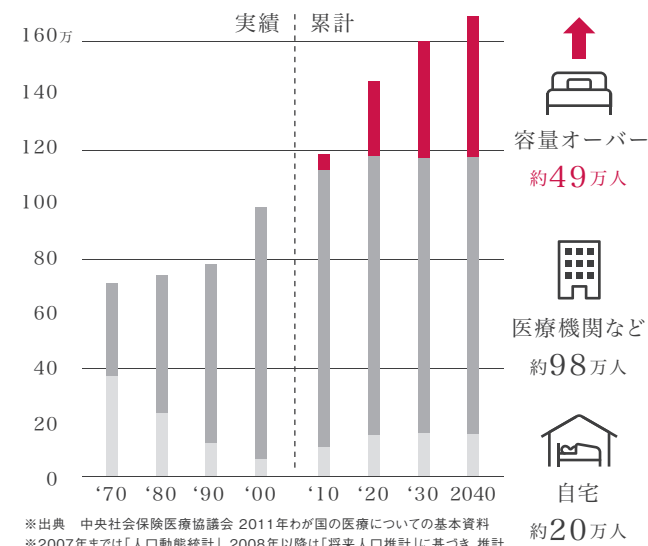
私たちが創る 患者様の希望



2040年には49万人が 終末期医療を受けられない可能性

かつて経験したことのない高齢・多死社会が近づく今、患者様を取り巻く環境にはさまざまな課題があります。多くの方が自宅や介護施設など、住み慣れた場所で普段の生活に近い暮らしをしながら最期を迎えたい、と考える一方で、実際に大半の方は病院で亡くなっています。さらに、国民医療費が高騰した結果、医療費削減の必要性から病床数が減り続ける中、今後は最期の時を過ごす場所を定められないまま亡くなる人や誰にも看取られることなくひとりで亡くなる孤独死の増加が懸念されています。

■ 死亡場所別・死亡者数の将来統計

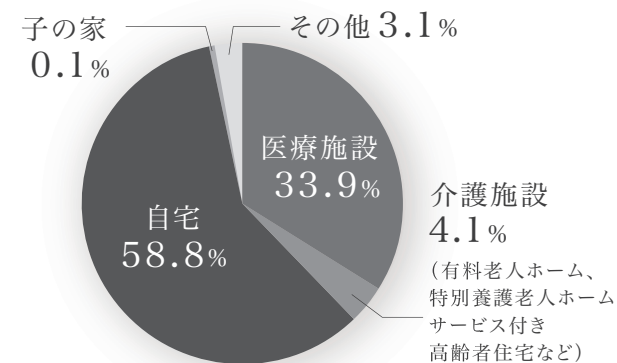


多様な医療サービスで、 患者様の笑顔を創る

こうした課題が深刻な中、国内で切実に求められているのが在宅医療です。患者様が通院困難な状態になった時に、在宅医療の環境が整っていれば、住み慣れた環境で療養に専念できます。

CUCグループはこうした世の中の医療ニーズに応えるべく、訪問看護ステーションや在宅ホスピスの運営、病院やクリニックの病床再編や各種運営支援を行い、地域社会に求められる新しい医療体制の構築を目指しています。

■ 人生の最期を迎えたい場所



出典：日本財団 人生の最期の迎え方に関する全国調査(2021年)

患者様とスタッフの関わりから 生まれたストーリー

STORY 01 訪問看護 H.M様

この人と過ごす時間がとても楽しい。

佐藤さんは優しく明るい上にとても勉強家なんですよ。ちょっと話したことを、次の訪問の時に調べてきてくれたりするから色々話が弾みます。私にとっては孫とひ孫の間くらいの若さだけど、相手を理解して、役に立とうと一生懸命やってくれているので、一緒に過ごす時間がとても楽しいんです。ソフィアメディさんとは長くお付き合いがありますが、他に来てくださっているスタッフさんにも良い方に恵まれて本当に感謝しています。これからもよろしくお願いします。

(H.M様より)

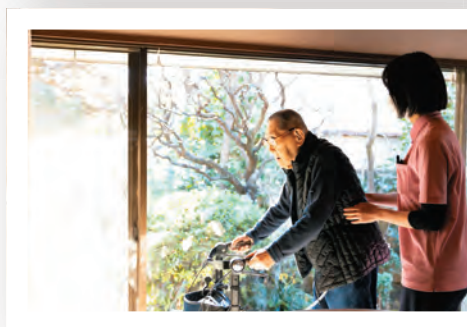
豊かな人生経験のお話を お聞きできる貴重な時間

H様は戦争のご経験を後世に伝えるため執筆活動を続けていらっしゃいます。毎日読書やウォーキング、家族4代揃ってのお食事の時間を大切にされています。106歳とは思えないほど精力的に活動する姿を間近で拝見し、背筋が伸びる思いでやる気と元気をいただいています。貴重な人生経験のお話を聞かせていただき、人として尊敬するH様に関わらせていただけてとても有難いです。



ソフィアメディ株式会社
看護師

佐藤 知恵





DATA

訪問看護における事業データ

■拠点数 83 拠点 ■訪問件数 802,819 件 ■患者様人数 14,369 人

データ対象期間：2021.04～2022.03

STORY 02 訪問看護 M.K様

訪問看護を通して 人生を振り返る

毎週、訪問していただく中で医療的な支援として看護やリハビリをしていただくことはもちろんですが、何よりスタッフの皆さんとお話することが母の楽しみになっているんじゃないかなと思います。最近の記憶は忘れてしまっていることが多いんですけど、昔の思い出とかは結構覚えているんですね。皆さんとお話をしながら、母は自分の人生を振り返っているように感じます。これからもよろしくお願いいたします。（M.K 様のご家族様より）

お客様の価値観を理解し、
より良い訪問看護へ

訪問がお客様にとって少しでも楽しい時間になるよう、またお客様の価値観を理解するためにお話をしながらリハビリすることを心がけています。特に寝室に飾ってある桜の写真をみて、「お父さんが撮った写真なんです。」と当時のことを思い出しながらお話をされたのが印象的でした。これからもあの手の手でサポートしていきたいと思います。



ソフィアメディ株式会社
作業療法士

村本 真子

※ソフィアメディでは、患者様のことをお客様と呼称しています。



STORY 03 在宅ホスピス K.A様

コロナ禍での外泊。
久しぶりに家族が集合できました。

パーキンソン病を抱え、在宅ホスピスにお世話になっていた母。思うように体が動かなくなる中で、「短い期間でいいから家へ帰りたい」という想いをつのらせていました。今叶えてあげないと、もう二度と自宅に帰れないかもしれない、と私自身も考え、わがままを言って外泊をお願いしました。施設のスタッフの皆さんは、私たちの希望を真摯に聞いてくださり、コロナ禍の厳しい外出制限がある中、2泊3日の外泊を叶えてくださりました。家族で集まり写真を撮り、楽しい時間が過ぎて、母もとてもうれしそうでした。

(K.A 様のご家族より)

ご入居様様の希望を実現して、
幸せに過ごしてもらいたい

ご入居以来、ずっとご自宅へ帰ることを希望されていたK.A様。PCR検査や行動記録、2週間の隔離といった厳格な感染対策を伴う、今までにない外泊でした。外泊から戻られたとき、涙を流しながら喜ぶK.A様の姿を見て、決行してよかったと感じました。ご入居様が前を向いて生きるために私たちができることは何なのか、改めて考える機会になりました。



株式会社
シーユーシー・ホスピス
介護士

中島 優華

STORY 04 在宅ホスピス W.M様

明るさを忘れずにいられる
環境をつくってくれる

ALS(筋萎縮性側索硬化症)を抱える父が今、穏やかな環境で過ごせているのは、在宅ホスピスの皆さんのおかげです。話好きで少しわがままな父ですが、職員の皆さんがかけてくださる言葉や笑顔、動き一つひとつに父が癒やされ、救われていることが分かります。療養中だった母が亡くなった時は、「どうしても妻の葬儀に出席したい」という父の希望を叶えてくださいました。母の葬儀に参加できたことで、父の中で何か整理ができたように思います。強そうに見えて実は気が弱い父が、明るさを忘れずにいられる環境を作ってくれる皆様に感謝しています。

(W.M 様のご家族より)

困難に直面しても、希望を叶えることを諦めない

W.M様はとてもお話好きで、毎日経管栄養を行いながらスタッフや他のご入居者様とお話するのが日課となっていました。しかし、徐々に病気が進行し、呼吸がしづらくなり、ベッドから起き上がるのも苦しい日々が続いていた頃。突然届いたのが、療養中だった配偶者様の訃報でした。コロナ禍ではありましたが、地域のケアマネジャーやかかりつけのクリニックと何度も調整を重ね、葬儀に出席いただくことができました。これからもW.M様の希望に寄り添い支えていきたいと思っています。



株式会社
シーユーシー・ホスピス
看護主任

野元 いつ子



DATA

在宅ホスピスにおける事業データ

■拠点数 26 拠点 ■お看取り数 783人 ■ご入居者様人数 692人

データ対象期間:2021.04~2022.03



支援先医療機関概要



医療法人桂名会 大須病院

愛知県名古屋市中区で、外来から入院、健診、検査、リハビリなど幅広い医療をお届けしている病院。大須病院に来ると「安心する」「ホッとする」そんな病院を目指して、地域の皆さんに愛される居心地の良い環境づくりに取り組みます。

CUC 医療機関支援

病院のブランディングと機能再編をご支援し、地域に愛されるかかりつけ病院へ

CUCでは、患者様や社会のニーズの変化から機能再編が求められる全国の病院やクリニックに対してさまざまな支援を行っています。

1971年に開設されたNTT西日本東海病院は、2021年9月をもって閉院となり、同年10月に医療法人桂名会に事業承継され、大須病院が開設されました。CUCは、桂名会に対して事業承継を支援し、患者様視点、医療従事者視点、経営視点の全方位から病院の立て直しをサポート。まず始めに取り組んだことは「新たな病院としてのブランディング」と「回復期リハビリテーション病棟の機能強化」です。

医師や看護師ら病院職員とCUCがブランドプロジェクトを立ち上げ、職員の想いを込めた「地域を愛し、愛される存在」というスローガンを決定しました。さらに、2022年6月には、回復期リハビリテーション病棟をリニューアル。採用支援を通じて多職種スタッフ100名体制のチームを構築し、患者様の状態や状況に合った医療サービスを提供することが可能となりました。

経営視点で病院の強みを引き出してくれるパートナー

CUCの皆さんとともに歩んだ1年の中で、医療業界とは違った視点からのアドバイスをいただく機会が増え、多くの学びがありました。現場に点在する情報から課題解決につなげる方法やスピード感を学ぶことができ、私自身も成長できたと自覚しています。今後も、CUCの皆さんと連携しながら、地域へ質の高い医療をお届けしてまいります。



医療法人桂名会
大須病院
リハビリテーション部 部長
宮嶋 友和

Hope for Healthcare workers

私たちが創る 医療従事者の希望

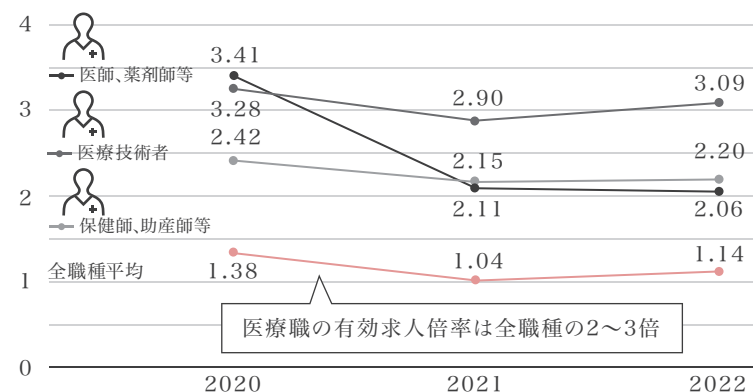


地域医療を支える医療従事者の不足

少子高齢化により医療従事者の役割や期待が増えているにもかかわらず、医療現場の人材不足は深刻化しています。その中でも、医療業界における労働人口は、2030年には約187万人が不足すると予測されています(※)。医療機関では、過剰労働が常態化し、医療従事者の負担が重くなることで離職につながる負のスパイラルが発生しています。これからの医療には、医療従事者が長期的なキャリアを築ける働き方が求められています。

※出典：パーソル総合研究所「労働市場の未来推計 2030」

■有効求人倍率の推移



※出典：一般職業紹介状況（職業安定業務統計）厚生労働省 | 2020年2月、2021年2月、2022年2月
※有効求人倍率：求職者1人に対して何件の求人があるかを示す数値

医療現場の働き方改革で、 多様で柔軟な職場環境をつくる

CUCグループでは、看護師やセラピスト、介護職、保健師といった医療現場の最前線で働くエッセンシャルワーカーのスタッフが数多く働いています。

目指すのは、患者様の一番近くで働く医療従事者が、働きがいを持って医療現場に立ち続けられること。そのために、私たちは労働環境の整備やキャリア支援など、働き方改革を進めています。医療現場に多くの笑顔を増やすことで、患者様へより良い医療を届けてまいります。

■ CUCグループにおける医療従事者数



※介護福祉士をはじめとする介護系有資格者数を指します
※2022年3月時点

医療に関わるすべての人が 自分らしいキャリアを描き続けられるように

■ CUCグループ

歩みたいキャリアを選べる グループ内公募制度「Dream」

「Dream」はCUCグループの各社・各事業部への異動を可能とするグループ内公募制度です。

人材を求める部署やプロジェクトの募集に対して、上長の許可を問わず、面談を経て希望の会社・事業部へと異動を叶えることができます。社員一人ひとりの「挑戦したい」という気持ちをもとに挑戦を後押しする機会を提供します。



看護師から人事へ。
キャリアの幅を広げる機会に

看護師として都内大学病院の救急外来を経て、ソフィアメディに入社。その後、神奈川県の新規拠点の立ち上げなど、訪問看護ステーションでさまざまな経験を積みました。その中で良質なケアを提供する在宅医療に関わる皆さんが長く働ける環境づくりに興味を持ち、「Dream」を使って人事領域に挑戦することを決めました。現在はCUCの在宅事業部人事チームで研修設計をはじめ人事として歩みを進めています。転職することなくキャリアの幅を広げられたことに感謝し、これからも医療従事者がやりがいを持ち続けられる環境づくりに励んでいきたいです。



株式会社シーユーシー
在宅事業部 人事チーム

中谷 若菜

CUCグループでは、医療に関わるすべてのスタッフが、自身の仕事に誇りとやりがいを持ちながら末永く働けるよう、キャリア開発支援や働き方改革を積極的に行っています。

■ ソフィアメディ

働き方改革 「ソフィアメディWOW!」

ソフィアメディでは定期的に社員と面談を行っています。働く環境についての要望、ライフサイクルの変化やプライベートとの両立などの悩みに一つひとつ耳を傾け、それらをサポートするために形にしたのが「ソフィアメディWOW! (Work for Our Wonderful life!)」です。



プライベートと仕事を両立しやすい
時間単位の有給休暇

入社時に「WOW!」を紹介したパンフレットを見て、ソフィアメディの制度の充実ぶりを感じていました。出産のための病院受診や役所での手続きなど、2週間に1度のペースで利用しています。通常であれば半休を取らなくてはならない会社も多いですが、1～2時間ほどの短い枠で休みが取れ、欠勤せず働けるのがありがたいです。今後は育児休暇を取得予定ですが、「WOW!」のベビーシッター制度や時短勤務も気になっているので利用してみたいと思います。



ソフィアメディ株式会社
医療事務

久湊 郁実

ソフィアメディ
“WOW!”
主な制度一覧

- ・有給休暇の1時間単位取得
- ・ベビーシッター料半額補助
- ・引っ越し支援金制度
- ・マタニティ制服の貸与
- ・育児時短制度の対象拡大
- ・LGBTQの結婚・育児・就労支援

詳細はこちら





CUCグループ

称賛の文化を育み、 ポジティブな職場をつくる

CUCグループは創業以来、活躍した従業員と理念を体現する取り組みにスポットライトを当てる称賛の文化を大切にしています。年一回行われるCUCグループ全体の大規模な表彰の場をはじめ、グループ各社や各事業部内でのベストプラクティスの共有会など、多くの称賛の機会があります。

医療職からビジネス職まで、多様な職種が混在するCUCグループでは、こうしたイベントによって異なる環境の社員同士で互いの取り組みを知り、一体感を醸成しています。今後も、称賛の舞台を通して、グループの社員一人ひとりの士気を高め、前向きに成長できる環境を積極的に作ってまいります。

日常的な称賛と感謝の共有で、働きがいのある職場に

CUCグループの称賛文化はイベントだけではなく。グループ各社の社内報やオウンドメディアを通して社内のエピソードや活躍人材について共有する場や、従業員同士が日々の感謝の気持ちをメッセージにして贈り合う制度など、社内のコミュニケーションを活性化し、モチベーションを高める取り組みを日常的に行っています。



(左) ソフィアメディ社内報
(右) CUCホスピス社内報

| CUC

医療現場に潜む人事課題に向き合い、
一人ひとりの働きがいを生み出す

持続的に良質な医療サービスを提供するためには、医療従事者が自らの仕事に誇りと働きがいを持てる環境が必要不可欠です。そのためCUCグループでは、すべての医療従事者のウェルビーイングの実現を目指し、グループ従業員と支援先の医療機関職員の働きがい向上や就業環境改善に取り組んでいます。

医療機関支援事業では、人事課題の解決を専門に扱う人事チームを組織し、支援先医療

機関に対して、職員の就業コンディションやES（従業員満足度）のサーベイを導入。調査結果を組織マネジメントにフィードバックすることで、組織環境の面からも医療経営を支えています。さらに人事制度（評価・報酬）などの改善提案や、専門スタッフによる個別面談の実施などを組み合わせ、医療現場における人と組織の課題に挑み続けます。



医療従事者の笑顔で患者様も社会も明るくなる

医療は、医療従事者の皆さんの力で成り立っています。しかし、慢性的な人手不足、職場の人間関係などを要因に、医療従事者自身が疲弊しているケースが全国の医療機関で散見されます。CUCが医療機関を支援する価値は、医療現場で働く人々の仕事への志を尊重しながら、より安心してその力を発揮できる環境をつくること。各種コンディションサーベイの

導入や個人面談を通じて医療従事者の方々のSOSのサインをいち早くキャッチし、組織体制や就業環境の整備につなげます。

医療機関の職員の方と本音で話せる関係性をつくり、組織や個人のコンディション改善を行うことが、医療従事者とその先にいる患者様の笑顔につながると信じ、私たちは「人」に向き合います。



株式会社シーユーシー
在宅事業部

山口 洋平

Hope for Society

私たちが創る 社会の希望

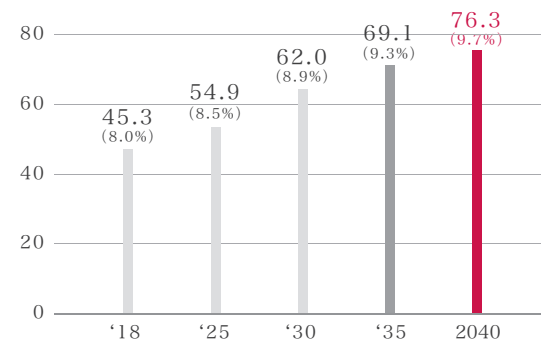


高騰する社会保障費

医療費削減の鍵を握る在宅医療

日本における社会保障費の増加ペースは深刻で、2019年度の国民医療費は44兆円を超え、2025年には約54.9兆円に達すると見込まれます。増大する医療費を抑えるため日本が現在取り組んでいるのは、病床の削減、そして在宅医療の普及です。自宅療養が可能な人を入院から在宅医療にシフトすることで、医療費を抑制する狙いです。CUCグループは、病院やクリニックの病床再編や各種運営支援、訪問看護ステーションや在宅ホスピスの運営を通じて、日本中に在宅医療の普及を促進し、医療費の抑制に寄与します。

■日本の国民医療費の推移



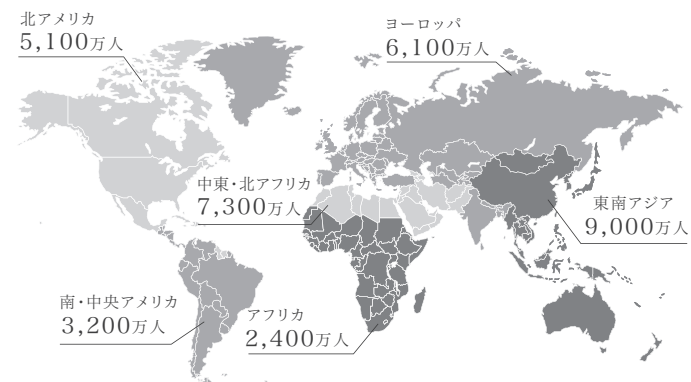
経済ベースラインケースに基づく数値
単価の伸び率の仮定は、「経済成長率×1/3+1.9%-0.1%」とする
※ () 内は対GDP比
※ 出典：「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」(内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省 2018年5月21日)に対応した国民医療費の将来見通し(計画ベース・経済ベースラインケース・単価の伸び率：経済成長率等を踏まえるケース①)

世界の医療課題の解決を。誰もが健康に生きられる社会へ

世界においても、新興国では経済成長に伴い質の高い医療の需要が急増しています。世界的な課題の代表例として挙げられるのが、糖尿病患者人口の増加です。2021年の世界における糖尿病患者死亡者数は670万人で、約6秒に1人が糖尿病で亡くなる計算となります。また、2045年には糖尿病患者人口が7億人に達すると予測されます。こうした課題をはじめとする多くの海外の医療課題に向き合うため、CUCグループではベトナム・インドネシアでの医療機関支援を開始しました。

今後も、さまざまな国における多様な事業活動を創出し、社会課題の解決に貢献していきます。

■世界の糖尿病人口



※ 出典：IDF糖尿病アトラス第9版(国際糖尿病連合2021年)

■ CUC 医療機関支援 × ソフィアメディ 訪問看護

全国の在宅医療が足りない地域に 新しい医療提供モデルをつくる

CUCグループでは、在宅医療が不足する地域において、在宅医療を提供する病院やクリニック、訪問看護ステーションを増やす取り組みを行っています。

2019年には、富山市内にて、CUCが訪問診療を行う「みんなの二口町内科クリニック」の開設支援を実施。また、CUCのグループ企業として訪問看護に取り組むソフィアメディも、北陸初の拠点として「ソフィアメディ訪問看護ステーション富山」を開設しました。高齢化が進み、在宅療養を支援する診療所が少ない富山市内(※)において、地域に住む患者様の在宅療養を支えています。支援先医療機関の訪問診療クリニックと自社の訪問看護ステーションを同じ建物内に開設することで、両拠点間のコミュニケーション・連携が強化され、より多くの患者様への価値提供、また訪問対応エリアの拡大を実現しました。今後、富山で構築したモデルをベースにして、在宅医療を必要としている全国の地域への展開を目指します。

(※)「富山県地域医療構想」の「在宅医療と介護サービスの状況」より

持続可能な在宅医療のモデルケースが、
地域の希望につながる

地方部における医療インフラの整備は、少子高齢社会において喫緊の課題です。CUCグループとして、在宅医療が不足する地域における開設支援の第1号の取り組みです。「地域とともに持続可能な在宅医療モデルをつくる」ことが、今後、全国の医療リソースが少ないエリアへ希望を創ることにつながることを信じています。

安心であたたかな在宅療養を
全国へ行き渡らせていきたい

訪問診療クリニックと訪問看護ステーションが同じ建物にあることで、日常的に密な情報共有ができる環境です。よりよい在宅療養モデルの実現、質の高いサービス提供につながっていると考えています。全国の医療資源が少ない地域に、在宅療養を提供していきたいです。

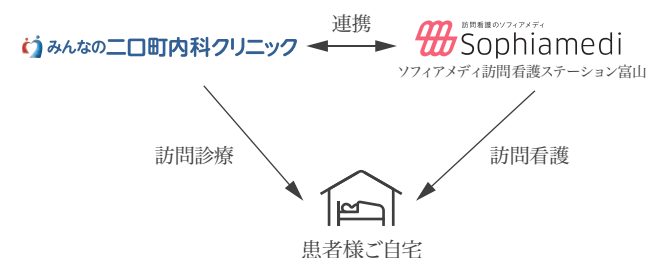


株式会社シーユーシー
在宅事業部
高橋 敦弥



ソフィアメディ株式会社
小田 風馬

■ 富山市内における在宅医療提供モデル



DATA

■ 訪問診療クリニック
新規開設支援数(CUC)

11 拠点

■ 訪問看護ステーション新規開設数
(ソフィアメディ)

15 拠点

※期間:2021年4月~2022年3月



DATA

- 疾患領域数 **6**
- 症例数 約 **900** 件

※データ集計期間
2021年4月～2022年6月

従来型治験 平均的には、3～4時間を要する



在宅治験 1回45分程度



治療の選択肢を広げる在宅治験を 世の中の当たり前にしたい

在宅治験事業の立ち上げは、新型コロナウイルスの感染拡大と重なり、治験やオンライン診療における環境が大きく変わった時期でもありました。関係者の調整に難航する時もありましたが、治療を必要とする人たちのサポートをしたい一心で取り組みました。

在宅治験が全国的に広まることで、これまで通院の負担がネックで治験を受けたいのに受けられなかった人たちに治験の機会を届けることができますし、それは、難病の治療を必要としている人にとっての大きな希望となると思います。今後も在宅治験の可能性を世の中に広げていき、多くの患者様に新たな治療の選択肢を提示することに貢献したいです。



株式会社シーユーシー
在宅治験プロジェクト

金川 和弓

ソフィアメディ×CUC 創薬支援事業

在宅治験で患者様の負担を軽減し、
新薬開発のスピードを加速する

「希少疾患」の95%に
治療の選択肢がない現状に変化を

世界に約7,000種類以上ある希少疾患。治療の必要性が高いにも関わらず、その患者数の少なさから、希少疾患のうち95%はいまだに治療の選択肢が存在しないといわれています。こうした疾患の創薬プロセスに欠かせないのが、新薬の効果や安全性を確認する治験です。日本では、海外に比べて治験の認知度が低く、承認申請プロセスが厳格なため、ひとつの新薬を開発するために10年以上の期間が必要だといわれています。

こうした課題に対して、2020年よりCUCが取り組んでいるのが、「在宅治験」の取り組みです。「在宅治験」とは、自宅にいなから治験に参加できる新しい仕組み。定期的な通院、長時間の拘束が不可欠だった従来の治験に対し、訪問看護やオンライン診療によって通院回数を減らします。治験患者様の負担を軽減することで、新薬開発の加速につながります。

CUCは、症例毎に医師・看護師の確保および医療機関の体制構築など、治験に必要な医療環境の整備を実施。創薬を行う製薬会社と治験をサポートする医療機関の間に立ち、円滑な治験プロジェクト推進に貢献します。



■ CUC 医療機関支援

増大するベトナムの中間層に
手頃で良質な“日本品質”の
医療を提供する

著しい経済成長を遂げるベトナムの医療提供体制は、富裕層を対象とする高級な民間病院と、国や省などが運営する公的病院に大きく二分されており、増大する中間層の医療需要の受け皿が不足しています。公的病院では、医療資源の不足により入院病床のベッドの占有率は100%を超えていたり、外来の待ち時間が半日以上かかり、患者様にとって過ごしやすい療養の場とは言い難い状況です。今後、中間層の大幅な増加が見込まれるベトナムでは、手頃で良質な医療サービスのニーズが高まっていくと予測されています。CUCが運営を支援するベトナム南部の医療グループ Hoan Hao Holdingsは、民間の医療法人でありながら、地域の方々のために公的病院にとって代わる手頃な価格で医療を提供することを特徴としています。現在、その特徴を活かしつつ、今後の市場環境の動向を踏まえながら、強みのある病院への変革支援を進めています。

発展するベトナムの未来のために、
良い医療が手頃な価格で受けられる医療機関を

ベトナムでは糖尿病が増加していますが、患者・家族の知識不足や医療資源の不足から、糖尿病を有する人の半数以上の200万人弱が適切な治療を受けられていない状況があります。糖尿病以外についても、多くの生活習慣病が同じ状況にあり、近い将来に大きな社会課題となると想定しています。私たちの使命は、高齢化先進国の立場から、ベトナムにて起きうる将来の負を減らし、より良い社会の実現に貢献すること。積極的に現地の医療体制を整え、ひとりでも多くの患者様に良質な医療という希望を創っていくこと。医療機関の展開に加え、医療品質の向上を目指し、日本の支援先医療機関との人材交流なども行っていく予定です。長期的には、ベトナム全土の医療の課題解決に取り組んだ経験をもとに、アジアの他の都市への展開も目指します。



Change Until Change Vietnam Co., Ltd
業務執行取締役
Managing Director
田邊 衛



ESG Initiatives

ESG データと企業情報

ESGポリシーとガバナンス体制

CUCグループでは、企業価値の向上を通じ使命の実現を目指しています。コーポレート・ガバナンスの仕組みを構築し、機能させるべく体制構築に取り組むことにより、CUCグループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上が自立的に図られると考えます。2020年度には取締役会の監督機能の強化を目的に、監査等委員会設置会社への移行や執行役員制度の導入を実施し、今年度は、CUCの業務執行取締役を新たに選任するとともにグループ内の各事業の連携強化を目的としてCUCの執行役員に主要子会社の代表取締役を選任しました。CUCグループ全体として透明性、健全性、公正性、効率性のある経営の実施を目指し、その体制を常に強化していきます。



株式会社シーユーシー
取締役

桶谷 主税

CUCは世界中の医療課題の解決を目指し、社会貢献性の高い事業活動を行っていると考えています。しかし、これらの活動を持続可能な取り組みとするためには、ESGの観点から自社の活動を振り返り、幅広いステークホルダーにとっての希望を創ることが重要です。当社は「地球環境に配慮した経営」「患者様と医療従事者のウェルビーイングの追求」「持続可能でイノベティブな医療サービスの創出」「安心安全な医療の提供」「コンプライアンスの遵守」をマテリアリティに掲げ、業界に先駆けてそれらの達成を追求することにより、持続的に世の中に対する価値を提供してまいります。



株式会社シーユーシー
執行役員

橋本 淳

環境関連データ

GHG(温室効果ガス)排出量*1		2022年3月期
Scope 1(t-CO ₂)(燃焼等による直接排出)		0
Scope 2(t-CO ₂)(購入した電力の使用に伴う間接排出)*2		19.5

*1 2022年3月期(2021年4月1日から2022年3月31日の期間)での単体ベース(本社オフィス)のデータ。照明、時間外空調室外機、専用動力を含む。

*2 マーケット基準で算定。なお、ロケーション基準での排出量は17.4(t-CO₂)です。(2022年3月期)

		2022年3月期
電力使用量(kwh)*3		40,220

*3 2022年3月期(2021年4月1日から2022年3月31日の期間)での単体ベース(本社オフィス)のデータ。照明、時間外空調室外機、専用動力を含む。

社会データ

人事関連データ(2022年3月時点)		CUC		ソフィアメディ		CUCホスピス	
従業員数(従業員)	全体	374名		1,324名		585名	
	男性	225名	60.2%	398名	30.1%	109名	18.6%
	女性	149名	39.8%	926名	69.9%	476名	81.4%
	うち 管理職	全体	74名	91名		61名	
		男性	63名	29名	31.9%	22名	36.1%
		女性	11名	62名	68.1%	39名	63.9%
	うち 非管理職	全体	300名	1,233名		524名	
		男性	162名	369名	29.9%	87名	16.6%
		女性	138名	864名	70.1%	437名	83.4%
従業員数(臨時従業員)	全体	30名		121名		134名	
	男性	6名	20.0%	16名	13.2%	17名	12.7%
	女性	24名	80.0%	105名	86.8%	117名	87.3%

			CUC		ソフィアメディ		CUCホスピス	
平均年齢	全体		36.5歳		36.6歳		43.7歳	
	男性		38.4歳		36.2歳		38.8歳	
	女性		34.2歳		36.7歳		44.8歳	
従業員年齢の状況 (全体に占める 男性比率、 女性比率)	30歳未満	全体	104名		360名		82名	
		男性	45名	43.3%	87名	24.2%	18名	22.0%
		女性	59名	56.7%	273名	75.8%	64名	78.0%
	30～39歳	全体	141名		544名		139名	
		男性	91名	64.5%	197名	36.2%	49名	35.3%
		女性	50名	35.5%	347名	63.8%	90名	64.7%
	40～49歳	全体	90名		301名		161名	
		男性	60名	66.7%	93名	30.9%	27名	16.8%
		女性	30名	33.3%	208名	69.1%	134名	83.2%
	50～59歳	全体	36名		106名		173名	
		男性	27名	75.0%	20名	18.9%	15名	8.7%
		女性	9名	25.0%	86名	81.1%	158名	91.3%
	60歳以上	全体	3名		13名		30名	
		男性	2名	66.7%	1名	7.7%	0名	0%
		女性	1名	33.3%	12名	92.3%	30名	100.0%

			CUC		ソフィアメディ		CUCホスピス	
退職率(正社員のみ)	全体		15.4%		14.4%		24.6%	
	男性		17.7%		11.2%		20.0%	
	女性		11.3%		15.9%		25.6%	
新規採用数(正社員数のみ)	新卒採用数	全体	15名		2名		0名	
		男性	5名	33.3%	0名	0%	0名	
		女性	10名	66.7%	2名	100.0%	0名	
	中途採用者数	全体	90名		494名		293名	
		男性	59名	65.6%	127名	25.7%	59名	20.1%
		女性	31名	34.4%	367名	74.3%	234名	79.9%
年間の一人当たり平均総労働時間		2,048時間		2,075時間		1,993時間		
労働時間前年比率*4		97.9%		101.0%		97.8%		
月平均残業時間		26時間		17時間		6時間		
有給平均取得率		61.8%		62.7%		57.3%		
育児休業取得率	男性		14.0%		25.0%		33.0%	
	女性		100.0%		100.0%		100.0%	
育休取得後復職率	男性		100.0%		100.0%		100.0%	
	女性		100.0%		100.0%		100.0%	

*4 前年平均総労働時間との比較率

ガバナンスデータ

組織形態		監査等委員会設置会社
取締役会議長		濱口 慶太
取締役	人数	6名(うち3名が監査等委員)
	女性率	16.0%
	社外率	33.0%
	任期	1年
監査等委員	社外率	66.0%
	任期	2年

※2022年7月1日時点

ガバナンス基本方針

当社グループは、持続的な企業価値の向上を通じてミッションを実現するために、透明性、健全性、公正性、効率性のある経営の実施、及び適切な監督機能を有する業務執行が必要であると考えており、それを実現するために、コーポレート・ガバナンスの仕組みを構築し、機能させることとしております。

企業統治の体制の概要及び当該体制を採用する理由

当社は、コーポレート・ガバナンスの一層の充実という観点から、監査等委員会設置会社制度を採用しております。経営の意思決定・業務執行と監督機能を分離する等意思決定の迅速化と経営監視機能を確保した現在の体制が当社において最善であると判断しております。

また、意思決定における牽制と監視が実質的に機能するよう、会議体における決裁を重視した体制を採用しております。

当社の取締役会は、取締役3名と監査等委員3名の計6名で構成されており、代表取締役が議長を務めています。原則として月1回の定例取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を開催しております。

取締役会は、法令・定款に定められた事項のほか、規程等に基づき重要な業務執行に係る意思決定を行うとともに、各取締役の業務執行の状況を監督しております。

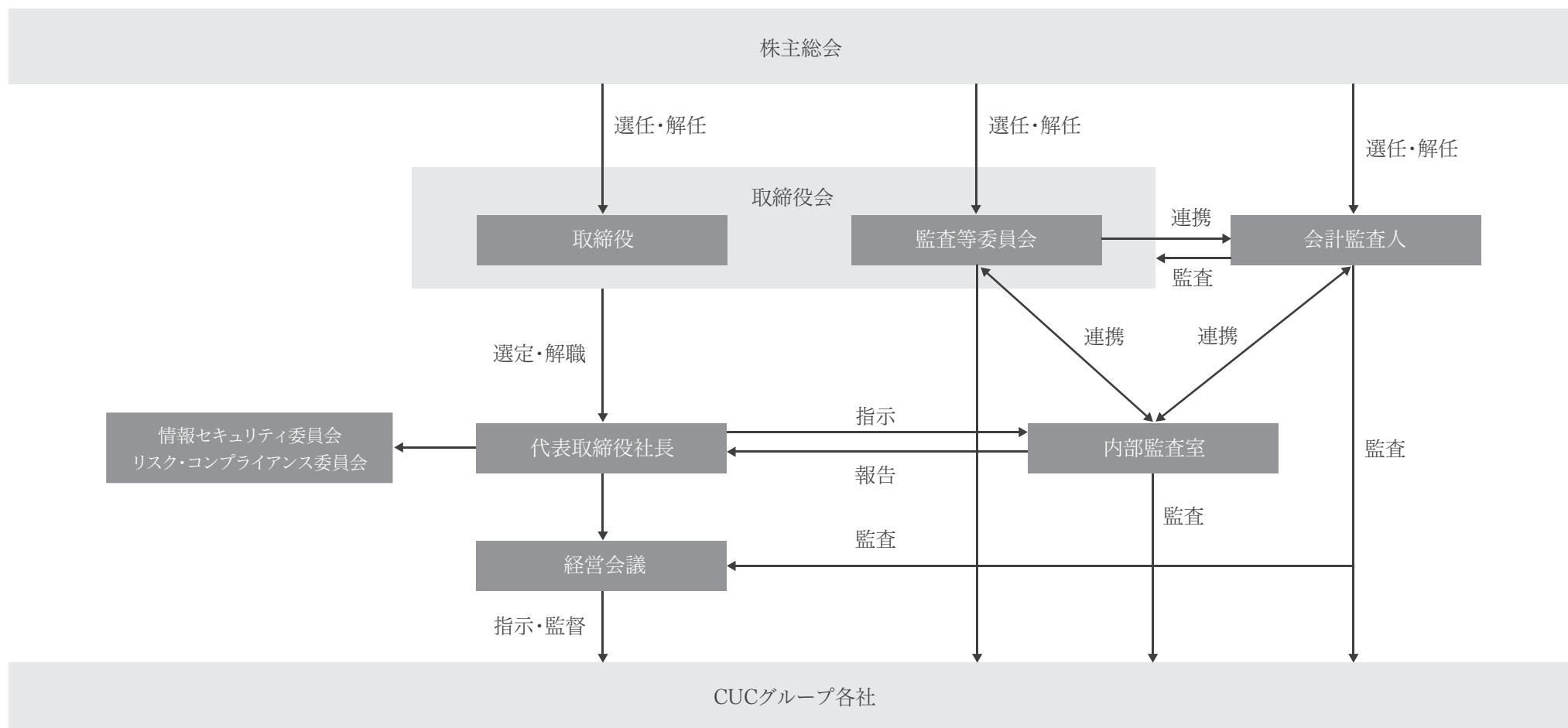
2022年3月期取締役会 開催状況	開催回数	12回
	取締役出席率	100.0%
	監査等委員出席率	100.0%
2022年3月監査等委員会 開催状況	開催回数	14回
	出席率	100.0%
執行役員		3名
会計監査人		PwCあらた有限責任監査法人

当社の監査等委員会は3名で構成されております。原則として、月1回の定例監査等委員会のほか、必要に応じて臨時監査等委員会を開催しております。監査等委員会は、内部監査担当及び会計監査人と随時情報交換や意見交換を行うほか、定期的に三者によるミーティングを行う等連携を密にし、監査機能の向上を図っています。

また、当社は執行役員制を導入し、業務執行取締役、監査等委員会委員長、執行役員の計4名で週次で経営会議を開催しており、代表取締役が議長を務め、必要に応じてオブザーバーとして各部室長等も出席し、事業実態に即した迅速な意思決定を行っております。

内部監査担当として従業員2名が従事しており、業務遂行状況の適法性、リスク管理への対応等を含む業務の妥当性等について、直轄する代表取締役のリスク認識を基に重要な監査対象項目を設定し取り組んでいます。

ガバナンス体制図



役員紹介



代表取締役

濱口 慶太

株式会社シーユーシー創業者 兼
代表取締役



取締役

田邊 隆通

2015年入社
国内外の医療機関支援事業を統括



取締役

桶谷 主税

2015年入社
CUCグループの管理部門を統括



取締役(監査等委員)

大場 啓史

エムスリー株式会社 執行役員



取締役(監査等委員)

光原 ゆき

NPO法人キープ・ママ・スマイリング
代表



取締役(監査等委員)

米村 良一

キリン株式会社元監査役



執行役員

橋本 淳

2021年入社
経営戦略室長として
財務・投資戦略、人事戦略、
広報戦略を統括



執行役員

伊藤 綾

2019年ソフィアメディ株式会社入社
2022年2月より同社の代表取締役に
就任



執行役員

井上 正明

2022年7月より
株式会社シーユーシー・ホスピスの
代表取締役に就任

企業情報



社 名	株式会社シーユーシー	グループ会社(五十音順)
英 語 表 記	CUC Inc.	株式会社シーユーシー・アイデータ
設 立	2014年8月8日	株式会社シーユーシー・フーズ
役 員	代表取締役 瀧口 慶太	株式会社シーユーシー・プロパティーズ
資 本 金	21億2,600万円(資本準備金含む)	株式会社シーユーシー・ホスピス
主 要 株 主	エムスリー株式会社 株式会社日本政策投資銀行	株式会社メディカルパイロット
主 な 事 業 内 容	医療機関向け支援事業 医療コンサルティング事業	ソフィアメディ株式会社
所 在 地	本社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目1番7号 野村不動産東日本橋ビル2階	鶴見駅前コンタクト株式会社 透析研究開発株式会社 有限会社わかくさコンタクト CHANGE UNTIL CHANGE HEALTHCARE COMPANY LIMITED CHANGE UNTIL CHANGE MEDICAL SERVICES COMPANY LIMITED CHANGE UNTIL CHANGE MANAGEMENT SERVICES JOINT STOCK COMPANY CHANGE UNTIL CHANGE VIETNAM COMPANY LIMITED CUC SINGAPORE PTE.LTD. GRHAMEDS CUC HEALTHCARE,PT

サステナビリティレポート 2022

2022年9月5日 第二版発行

【発行元】

株式会社シーユーシー

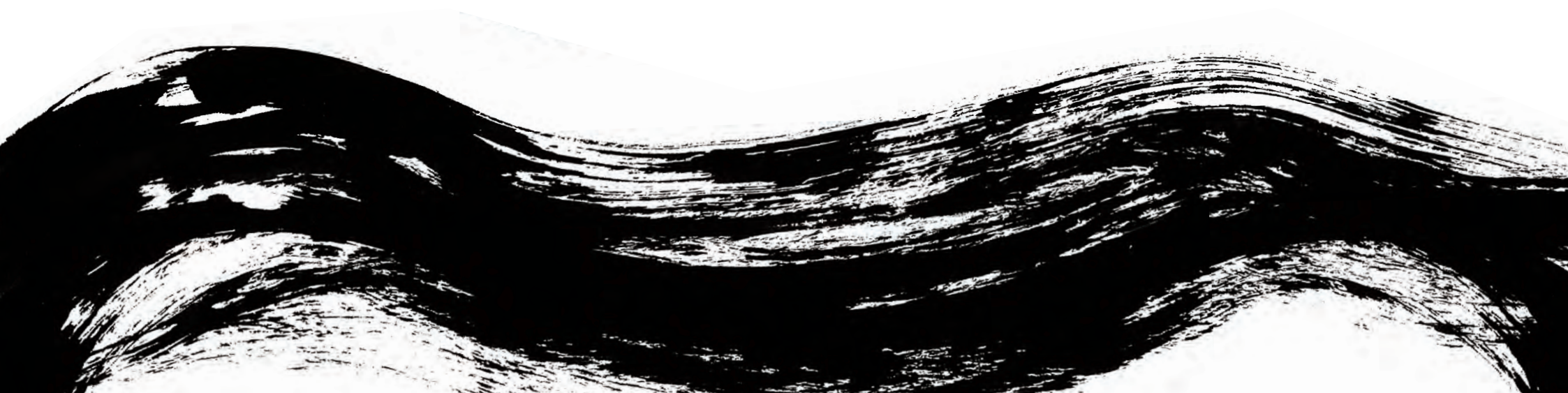
〒103-0004

東京都中央区東日本橋一丁目1-7

野村不動産東日本橋ビル 2階

【コーポレートサイト】

<https://www.cuc-jpn.com/>



CUC GROUP